

# 船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaijin@jsu.or.jp  
全日本海員組合発行 第3107号（昭和25年8月24日第三種郵便物認可）

2026年(令和8年)  
1月25日  
本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区  
六本木7丁目15番26号  
全日本海員組合本部  
発行人 斎藤 洋  
TEL 03-5410-8329  
FAX 03-6910-5339  
定価 1部 100円  
(組合員の購読料は組合費に含む)

# 第81年度 新任職場委員研修会

海員福祉研修会館（ホテルマリナーズコート東京）で2日間



研修一日目は、午前10時の開会式から始まり、海員組合・総務部木村俊暉副部長による講義「職場委員とは」を行ない、組合活動における職場委員

員の任務や権限、組合の機関  
会議やイベント等、必要な知識を学んだ。  
午後からは外部講師による  
「ビジネス・コミュニケーション」

ヨン講座を実施し、口常業務に役立つ意思疎通や情報传达等に必要なテクニックについて実演を通して学んだ。紹介しての講義「近年の労働情勢」

最後の講義「組合と語う」では、田中伸一組合長が行との意見交換が行われ、「合活動について理解を深めた。

大切なこと」で、仕事とは何か、仕事を通じてなにを実するのか、より良い仕事をするために何が必要で、何をがける必要があるかについて学んだ。

研修2日目は午前9時から、本組合法律顧問の田川さん  
一弁護士の事務所所属の黒直行弁護士による「労働債  
・労使紛争等」の講義が行われ、労働組合の持つ権利と  
律上の船員労働者の特殊性  
本組合が行ってきた労使紛  
等の実例をもとに、会社の  
当労働行為や倒産時の対応  
について学んだ。続いての研  
義は、海員組合・総務部木  
充総務局長付シニアアドバ

「および労働組合法」では、  
労働組合の存在意義や、労働  
法（労働基準法・労働組合  
・労働関係調整法）等の関  
法令を分かりやすく解説し、  
職場委員としての必要な知識  
について理解を深めた。タク  
より外部講師による「アイ  
ブレイク」を実施し、食事  
しながらゲームを交えて歓  
し、職場委員同士の交流を  
一層深めた。

第81年度新任職場委員研修会を12月16日、17日に海員福祉研修会館（ホテルマリナーズイト東京）にて開催した。職場委員とは企業に所属する組合員で、現職の地位のまま労働契約の履行を監視し、組合員の苦情処理にあたることを主な任務とする。本研修では「職場委員の役割について学び、職場委員同士の交流を行うこと」を目的としており、全国から11人の新任の職場委員が参加し、2日間の研修を経て職場委員としての任務と役割を理解した。

## コミュニケーションを通じて組合活動を理解



# 活動方針の具現化に向けて 関係省庁へ申し入れ



昨年の11月に鹿児島市で開催された第86回定期全国大会で決定した新たな活動方針にもとづき、12月10日の海事振興連盟をはじめ、国土交通省、文部科学省、自由民主党、立憲民主党、国民民主党、公明党の各代表宛てに、要望項目を網羅した申し入れ文書(全国海友婦人会との共同申し入れ文書)を手交し、個別の課題について重点的に説明、要請を行っている。

(船員しんぶん1月5日号の2面・3面に掲載)

12月25日



各職場委員からは、洋上投票制度で実際に生じている問題点、インターネット投票の創設も含めた洋上投票制度の改善、東京湾における情報通信インフラの整備、不惑地帯の解消など、水産教育や労働技術の継承に向けた支援などを、洋上で働く現場組合員のため、家族や現場の立場で、切実な思いを訴えた。

また、申し入れに同行した各職場委員からは、洋上投票制度で実際に生じている問題点、インターネット投票の創設も含めた洋上投票制度の改善、東京湾における情報通信インフラの整備、不惑地帯の解消など、水産教育や労働技術の継承に向けた支援などを、洋上で働く現場組合員のため、家族や現場の立場で、切実な思いを訴えた。

総務省と農林水産省への申し入れは、海員組合政治参政の逢坂誠二衆議院議員に同行いただき、松浦満晴組合長から、第86回定期全国大会で決定した活動方針にもとづく「海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ」の文書を各対応者に手渡した。申し入れ文書の内容は、情報通信インフラの整備、洋上投票制度、海難事故の撲滅、安全な漁業労働安全対策、日本人漁船員の後継者確保、育成などの政策課題で、これらを松浦組合員から詳細に説明した上で強く要望した。

## 申し入れの概要

# 海運・水産の政策諸課題について要望



12月24日、長崎県と長崎市へ定期全国大会決定の海運・船員の政策諸課題に関する申し入れを実施し、申し入れには松本順一九州閨門地方支部長兼長崎支部長をはじめ執行部3人と、洲崎政矢九州商船株式会社職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、松林恭子全国海友婦人会西九州ブロック長が参加し、中村泰輔長崎県議会議員(組合政治参政)と井上重久長崎市議会議員に同行いただいた。

長崎県への申し入れでは、石田智久産業労働部雇用労働政策課政策監理官にご対応いただき、申し入れ文書を手交して意見交換を行った。長崎市へ申し入れは鈴木史郎長崎市長にご対応いただき、文書を手交し意見交換を行った。

「次世代の海洋人材の育成に関する事業」とは、高専・産業界連携による人材育成を目的として商船系高等専門学校5校により取り組まれている事業。商船系高等専門学校を主体としつつ、連携機関として日本船主協会、国際船員労務協会、全国船舶職員協会、海技教育機構、本組合が参加しており、さまざまなプロジェクトが計画・実施されています。

で、業界への理解や興味の促進を図っています。

本組合が今年度担当したのは、専門学校。無関健一朗(株)商船三井職場委員から同校の商船学科1~2年生約80人に對し講演を行いました。講演は、無関職場委員ならびに牧野職場委員から自身の経験について紹介の後、学生がスマートフォンで匿名参加するリアルタイムQ&Aアプリを用いて進行されました。

学生から挙げられた質問意見は、△福利厚生について△船内で怒られることがある△身内の不幸があった際に下船できるかどうか△海技試験の勉強を始めるタイミングについて△船内の食事につ

いて▽外航船員は結婚でき  
かどうか▽年収について一な  
どがあり、外航職場妻貢四々  
からの回答により共通理解が  
図られました。

# 令和7年度 次世代の海洋人材の育成に関する事業 **海事キャリア教育セミナー**



講演する無関健一朗職場委員と牧野綜太職場委員



#### 外航船員インタビュー動画



### 外航船クイズに挑戦

# J-CREWプロジェクト～やっぱり海が好き～

## 外航船員・外航海運に関する特別展示 「キミも船員さんになろう！」

ト、やつぱり海が好きく  
は、外航商船に乗り組む外  
日本人船員の後継者確保  
目的とする広報プロジェクトは国  
ト。このプロジェクトは国  
船員労務協会と全日本海  
組合が共同で運営しております  
2012年10月から本格始  
した後、外航船員の認知拡  
や海事思想の普及、進学に  
わる各年齢層への啓発活動  
向け、これまで精力的に活  
を展開しています。

特別展示「キミも船員になろう!」



はじめに高宮成昭関東地方支部長があいさつした後、3月1日付で地区闘争準備委員会が設置されるまでの間、高宮成昭関東地方支部長を委員長とする地区闘争準備委員会を設置することを確認した上で、合同職場委員連絡会議から第1回関東地区闘争準備委員会へ移行し、会議を進めた。

第1回関東地区闘争準備委員会では、執行部が大衆討議

1月19日、関東地方支部で合同職場委員連絡会議を開催し、関東地区闘争準備委員会の設置を確認するとともに、令和8年度労働協定改定闘争に向けた大衆討議訪船や現場集会など、一致団結して取り組むことを確認した。

# 海員春闘に向けて 関東地区 闘争準備委員会を設置



## 労働協約改定闘争に向け一致団結



あいさつする浦隆幸関西地方支部長



あいさつする松浦満晴組合長

1月9日、午後4時から関西地方支部5階大会議室で、職場委員、現場組合員、全国議員をはじめ県議会・市議会の各級議員、関係官庁などの関係者、約200人が参加しての関西地方支部新春旗開きが開催された。はじめて主催者を代表して浦隆幸関西地方支部長が「新しい年を迎えて船務に励む皆さまの日々の努力と奮闘に心から敬意を表します。組合員の皆さまと本日、出席いたいた皆さまの健康で実りのある1年となるよう祈念する」とあいさつした。

続いて本組合を代表し、松浦満晴組合長から「今年の活動方針を具現化するため本部、支部が一丸となり船員の後継者確保、育成などのさまで新春旗開きを終えた。

1月9日、午後4時から関西地方支部5階大会議室で、職場委員、現場組合員、全国議員をはじめ県議会・市議会の各級議員、関係官庁などの関係者、約200人が参加しての関西地方支部新春旗開きが開催された。はじめて主催者を代表して浦隆幸関西地方支部長が「新しい年を迎えて船務に励む皆さまの日々の努力と奮闘に心から敬意を表します。組合員の皆さまと本日、出席いたいた皆さまの健康で実りのある1年となるよう祈念する」とあいさつした。

続いて本組合を代表し、松浦満晴組合長から「今年の活動方針を具現化するため本部、支部が一丸となり船員の後継者確保、育成などのさまで新春旗開きを終えた。

1月9日、午後4時から関西地方支部5階大会議室で、職場委員、現場組合員、全国議員をはじめ県議会・市議会の各級議員、関係官庁などの関係者、約200人が参加しての関西地方支部新春旗開きが開催された。はじめて主催者を代表して浦隆幸関西地方支部長が「新しい年を迎えて船務に励む皆さまの日々の努力と奮闘に心から敬意を表します。組合員の皆さまと本日、出席いたいた皆さまの健康で実りのある1年となるよう祈念する」とあいさつした。

続いて本組合を代表し、松浦満晴組合長から「今年の活動方針を具現化するため本部、支部が一丸となり船員の後継者確保、育成などのさまで新春旗開きを終えた。

## 関西地方支部 新春旗開き

今年も一致団結で前進する年へ



鏡開きで今年の円満未広がりを願う

## 中・四国地方支部 新春旗開き

干支の馬のように飛躍する年に



棚田洋防予フェリー職場員の乾杯の音頭

## 九州関門地方支部 新春旗開き

海の平和と船舶の安全運航を願う



# 大阪支部 住吉大社へ初詣 海の守護神に祈願

左から小島英悟在籍専従執行部員、平野航太郎在籍専従執行部員、布花原楓在籍専従執行部員、畠中智尋琵琶湖汽船職場委員、小林泰之大阪支部長、森健輔新日本海フェリー職場委員

# 金刀比羅宮参拝 海上安全と大漁満足を願う

左から遊佐清和尾道支部長、齋藤洋中央執行委員、岡本裕二高松支部長、高橋健二中央執行委員、清水駿愛媛支部長、除補修中・四国地方支部長



1月6日、大阪支部は、小林泰之大阪支部長をはじめ執行部と森健輔新日本海フェリーゼ職場委員、畠中智尋琵琶湖汽船職場委員が大阪市住吉区の住吉大社に参拝した。住吉大社の神様(住吉大神)は古くから海の守護神として知られており、奈良時代には遣唐使派遣の際に海上安全の祈願をしていました。

境内にある石燈籠の多くは船舶関係者から奉納されたものである。住吉大社には毎年、海事関係者など、多くの人々が参詣に訪れ、航海安全と安全操業、大漁を祈願している。今年も社殿で神職による海上安全の祈祷を受け、平和な海と組合員の安全航海・大漁満足を祈願した。

(大阪支部=発信)

# 名古屋支部 令和8年度 新年の集い

左から沢井幸保第四管区海上保安部本部長、全国海友婦人会高島知里伊勢湾支部長、田中伸一組合長代行、加藤一登名古屋市議会議員、山原始名古屋支部長

# 新潟支部 新年懇親会 一致団結のガンバローで締めくくる

左から佐渡汽船株式会社の木村浩明職場委員、佐藤智矢職場委員、中川貴史職場委員



1月25日  
中央選挙委員会 議長  
齋藤 洋

**第40期全国委員の当選告示**

一、2026年1月15日付で告示した第40期全国委員補充選挙については、立候補の受け付けを締め切り、立候補者の資格審査を行い、候補者が適格であることを確認した。

対立候補者がない立候補状況であることから、全国委員選挙規則第25条D項により投票を略し、当選人を次の通りとする。

当選人 布花原 楓 (補充選1名・立候補者1名)  
地区別・地方単位  
04 関西  
大阪支部在籍専従執行部員

長から新年のあいさつを行って、続いて組合を代表して田中伸一組合長代行からあいさつが述べられた。また、来賓各位から祝辞が述べられた後、全国海友婦人会の高島知里伊勢湾支部長と第四管区海上保安部の沢井幸保本部長、組合政治参与の加藤一登名古屋市議会議員、田中伸一組合長代行、山原始名古屋支部長の5人が会場の掛け声に合わせて、鏡開きを行った。

乾杯の音頭は太平洋フェリーワークスの柳谷一輝船内委員長の一本締めで締めくくった。

(名古屋支部=発信)

1月13日、名古屋支部で「新年の集い」を開催し、現場組合員のほか、中部運輸局と第四管区海上保安本部、担当各社、組合政治参与をはじめとする各級議員など約110人が参加した。

はじめに山原始名古屋支部長が山原始名古屋支部長と第四管区海上保安部の沢井幸保本部長、組合政治参与の加藤一登名古屋市議会議員、田中伸一組合長代行、山原始名古屋支部長の5人が会場の掛け声に合わせて、鏡開きを行った。

乾杯の音頭は太平洋フェリーワークスの柳谷一輝船内委員長が行い、歓談で懇親を深めた後、最後はコスモ海運株式会社の柳谷一輝船内委員長の一本締めで締めくくった。

(新潟支部=発信)

1月13日、海員組合本部の高橋健一中央執行委員と齋藤洋中央執行委員をはじめ、除補修中・四国地方支部長以下、中・四国管内執行部が香川県琴平町の金刀比羅宮において初参りを行った。

金刀比羅宮は、漁業や航海などの安全をつかさどる大物主神を祭神とする神社。「大物主神」を祀った神社は全國にたくさんあるが、金刀比羅神社の總本宮で参拝すれば、海上安全祈願だけではなく、商売繁盛や健康、学業などに利益を授かるとされている。

785段の石段の先にある本宮において「海上安全」と「大漁満足」の祈禱を受け、今年1年間の組合員の安全運航と天漁を祈願し、参拝を終えた。

(高松支部=発信)

1月9日の18時から、佐渡汽船新潟ターミナルで新潟支部「新年懇親会」を開催し、担当会社の組合員をはじめ、組合政治参与の渡辺和光新潟県議員、西村智美衆議院議員、新潟支部の政策活動と関わりの深い新潟県議会議員や新潟市議会議員など、約50人が参加した。

はじめに浅野忠行新潟支部長が新年のあいさつを行い、続いて高富成昭関東地方支部長と出席された各級議員から50人が参加した。

佐渡汽船の木村浩明職場委員を中心の中川貴史佐渡汽船職場委員と、木村浩明佐渡汽船職場委員の三人で締めくくった。参加した組合員がやはり、毎年の恒例開催を期待しているとの声も聞かれた。

(新潟支部=発信)

懇親会では執行部と各出席者が懇親を深め、出席者の一致団結を誓い合うガンバロー三唱は、佐藤智矢佐渡汽船職場委員を中心とした。参加した組合員がやはり、毎年の恒例開催を期待しているとの声も聞かれた。

(新潟支部=発信)



青野川の河津桜



石廊崎灯台



## 灯台からの眺め



下田港

石廊崎灯台は、静岡県伊豆半島最南端の石廊崎に立つ白亜の塔形の中型灯台です。石廊崎は昔から航海の難所で、この沖の岩礁で座礁・難破する船が多かつたため、多くの船頭たちから灯台設置の要望があつたそうです。

に現在の形に改築し、平成10年に外壁をタイル張りにしています。この灯台は日本では10番目に古い洋式灯台です。

点灯開始から平成6年まで、灯台の近くに職員と家族が暮らし、灯台を直接保守していましたが、現在は下田から定期的に職員が訪れ、点検保守を実施しています。

断崖と吹き抜ける潮風、南豆の奇岩、そして雄大な太平洋の眺めが感動を与えてくれます。

執筆「幻談」は口語体で読やすく、明治時代に執筆し、「対觸體」は文語体で重く、読後も物語の悲しみが心から離れません。大正時代に執筆された「観画談」は、文語と口語体の葛藤が気になります。

近代文学の小説家幸田露がよく愛したという温に不思議な愛着を感じました。

青野川の河津桜



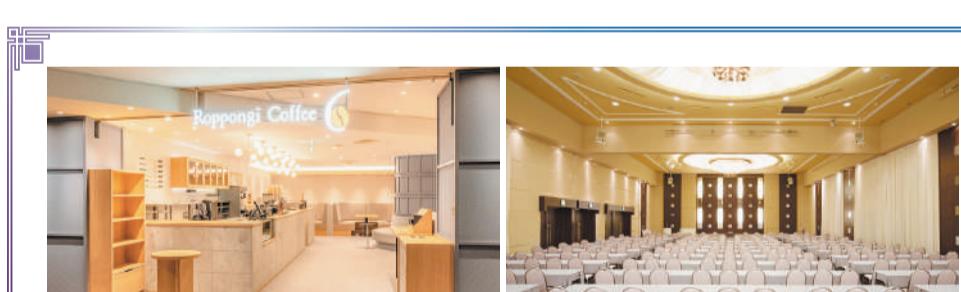
# 石廊崎灯台

これまでの  
労をねぎらう

石廊塔

# 和日 旅りよ 駕き

終点の「伊豆急下田駅」からは下加茂方面の路線バスに乗り、九条橋停留所で降車する。目の前には道の駅「下加茂温泉・湯の花」があり家族連れでにぎわっています。



メールもしくは電話での予約が可能となっている。

組合員特刊

HOTEL  
Mariners' Court TOKYO  
マリナーズコート 東京

〒104-0053 東京都中央区晴海4-7-28  
お問い合わせ先 TEL 03-5560-2525  
泊め証用アドバイス [Me@hotels.mariners.co.jp](mailto:Me@hotels.mariners.co.jp)

ホテルマリナーズ」一ト東京（海員福祉研修会館）が、全面リニューアルした。リニューアルしたのは、客室内のベッドや浴槽・トイレなど。すべてを新調し、宿泊者が、より快適に過ごせる空間を実現した。

は、通常の半額料金で宿泊が可能となるほか、組合員の紹介があれば、会議・宴会費用の総額から30%割引となる。

# 海員福祉研修会館 ホテルマリナーズコート東京





